

令和8年度 第6回青森県特別支援学校総合スポーツ大会

「バレーボール競技」実施要項

- 1 日 程 令和8年7月1日（水）
開会式 10:00
ウォーミングアップ開始 開会式終了後
競技開始 10:40～
- 2 会 場 新青森県総合運動公園 マエダアリーナ メインアリーナ【Cコート】
- 3 監督会議 9:50～（メインアリーナ【Cコート】バレーボール専門部本部前）

4 競技方法

- (1) 試合は各セット25点のラリーポイント制の3セットマッチとする。なお、得点が「24対24」の同点になった場合、それ以降は2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。第3セットも25点制で行い、コートチェンジはいずれかのチームが13点を先取したときに行う。
- (2) 試合はリーグ戦またはトーナメント戦、または両方（エントリー数に応じて専門部主管校で決定）とし、順位の決定方法については下記の通りとする。
- ①リーグ戦は、勝利数が多いチームを上位とする。2チームまたはそれ以上のチームの勝利数が並んだ場合は、ポイントの高いチーム、ポイントも並んだ場合はセット率の高いチーム、セット率も同率の場合は得点率の高いチームを上位とする。なお、得点率も同率となった場合は、当該チーム間での計算を行い、勝利数、ポイント、セット率、得点率の順で上位チームを決定する。
- ②試合で付与されるポイントは、「2-0」での勝利は3ポイント、「2-1」での勝利は2ポイント、「1-2」での敗戦は1ポイント、「0-2」での敗戦は0ポイントとする。
※棄権または何らかの理由で不戦敗となった場合は、0-25、0-25で敗戦したものとしてみなす。
- ③トーナメント戦では、3位決定戦は実施しない。
- (3) 試合開始時刻は第1試合のみ設定し、第2試合目以降は前の試合終了10分後にプロトコールを開始する。ただし、連続試合の場合は試合終了15分後にプロトコールを開始する。また、2試合目終了後に、昼休憩30分をとる。
- (4) 試合は、ワンボール・システムで行う。

5 競技規則

実施年度の全国障害者スポーツ大会競技規則（6人制）及び青森県特別支援学校総合スポーツ大会申し合わせ事項による。

(1) エントリーについて

- ①特別支援学校に在籍する中学部・高等部生徒とする。
- ②チームは男女混合可とする。
- ③チーム編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手14名以下とする。また、エントリーする選手が12名を超える場合、2名のリベロを置かなければいけない。ベンチに入ることができる教職員は監督、コーチ、マネージャー1名ずつの計3名までとするが、マネージャーは当該チームの生徒も可とする。合同チームの場合も学校間で調整し、同様の配置とする。
- ④1校から複数のチームをエントリーしてもよい。
- ⑤ 合同チームについて、何らかの事情によりエントリー後にチームの結成が困難になった場合には再エントリーは認めず、本競技のチャレンジ競技へ移行することとする。

- (2) ネットの高さは、215cmとする。
- (3) 競技者の服装
 - ①チームユニフォームを着用すること。背番号は、1番から14番までが望ましい。なお、チーム名、キャプテンマーク及び背番号等のサイズは、規程のものとする。
 - ②ユニフォームは、ビブス等の着用による代用も認めるが、選手の背番号は固定とする。
 - ③リベロプレーヤーを採用する場合は、他競技者と区別できるユニフォームまたはリベロビブスを着用すること。
- (4) 試合球は、(公財)日本バレーボール協会検定5号球(ミカサV300W)とする。
- (5) 組合せは、主催者が代理抽選の上、決定する。
- (6) 順位の決定と表彰
 - ①1～3位まで賞状を授与する。
 - ②最終戦終了後、コートにて閉会式(表彰式)を行う。

6 その他

- (1) エントリー校の監督または教職員1名に当日までの準備や当日の競技運営等の業務の補助として専門部に協力をお願いする。
- (2) 試合終了後は速やかにベンチを空けること。前の試合のチーム退去後、次の試合のチームが競技エリア内へ入ることを認める。
- (3) 当日の気温等によっては、各セット(第3セットを含む)のリードしているチームが13点に到達したとき、給水のためのタイムアウトを適用する場合がある。
- (4) チャレンジバレーボール競技は、本会場では実施せず、期間内に各校で実施する。詳細はチャレンジバレーボール競技の実施要項で定める。

【バレーボール専門部主管校】

青森県立青森第二高等養護学校

委員長 小松崎 瞬

TEL 017-742-6624

FAX 017-742-6646

E-Mail 2020ases005@gmail.com